

第65期 中間報告書

平成22年12月1日～平成23年5月31日



マルカキカイ 株式会社

日本・アメリカ・中国・東南アジアの4極体制を構築し、さらにグローバルに事業の拡大をはかります。

株主の皆様には平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当第2四半期連結累計期間（平成22年12月1日から平成23年5月31日まで）におけるわが国経済は、設備投資の抑制局面からの回復過程にあり、中国をはじめとするアジア新興国の堅調な成長にも支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災の影響により、経済活動は収縮し、先行きに不透明感が増しました。

このような状況において、当社グループでは、日米中亜4極体制の構築など海外事業の拡大を推し進めてまいりました。

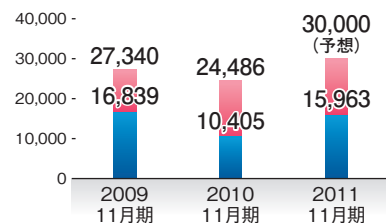
その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,963百万円（前年同期比53.4%増）、営業利益は429百万円（同590.3%増）、経常利益は497百万円（同172.2%増）、四半期純利益は300百万円（同311.8%増）となりました。

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

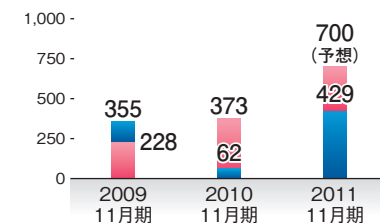
売上高(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



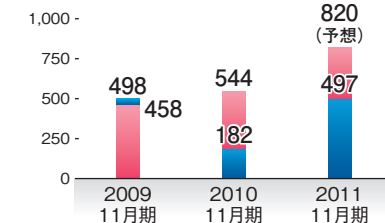
営業利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



経常利益(連結)

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (単位:百万円)



当連結会計年度の産業機械部門の営業戦略は、輸出の増加、三国間取引や現地ユーザーの拡大による海外取引の拡大です。

MM会（マルカメーカー会）商品、部品や消耗品、サービスの取扱を拡大させ、元気のある市場に営業力を注力し、海外売上比率を拡大させてまいります。

建設機械部門の営業戦略は、建設機械MM会（マルカメーカー会）商品の販売を拡大すること、建設機械の輸出を拡大させていくことです。また、東日本大震災の復興に少しでもお役に立てるよう、東北地方の建設機械需要に素早く対応できる体制を整えてまいります。

当社は設立65周年を迎えます。これもひとえに株主

の皆様をはじめ、お取引先様各位の永年のご支援・ご愛顧の賜と感謝申し上げます。「人生是誠也」を社訓として、「最善の奉仕」をモットーに、「顧客の満足」を使命として着実に事業の展開をはかってまいりました。これからも、この精神は忠実に守ってまいり所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

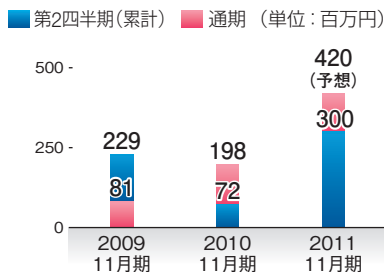


取締役会長
釜江 信次

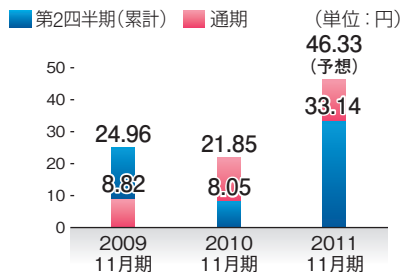


取締役社長
竹下 敏章

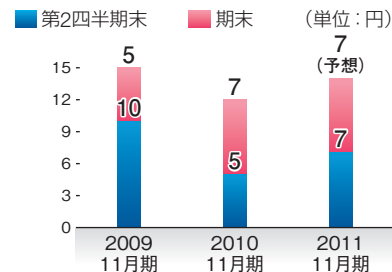
■ 四半期(当期)純利益(連結)



■ 1株当たり四半期(当期)純利益(連結)



■ 1株当たり配当実績および予想



部門別の概況

OPERATING RESULTS

産業機械部門

日本では、自動車業界をはじめとして設備投資は回復し、またアジアにおいても中国を筆頭にアジア新興国の設備投資は堅調に推移いたしました。アメリカにおいては、雇用情勢等に不安はあるものの設備投資は好調に推移し、航空機・自動車等各分野で伸ばいたしました。

この結果、当部門の売上高は12,725百万円（前年同期比63.5%増）、営業利益は823百万円（同134.4%増）となりました。



建設機械部門

日本の建設投資は依然として厳しい状況が続いておりますが、主力商品のクレーンの販売が増加しました。また子会社のジャパンレンタル㈱も堅調に推移しました。

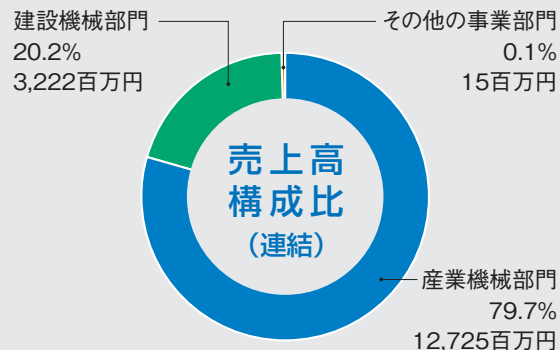
この結果、当部門の売上高は3,222百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は69百万円（同23.8%減）となりました。



その他の事業部門

当セグメントは、保険部門の業績を示しております。

当部門の売上高は15百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益は6百万円（同83.2%増）となりました。

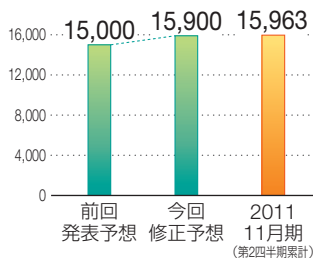


当第2四半期累計期間は、 当初予想を上回る収益を達成いたしました。

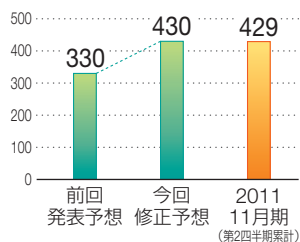
当社を取り巻く環境は、設備投資の抑制局面からの回復過程にあり、中国をはじめアジア新興国の堅調な成長にも支えられた結果、緩やかな回復基調で推移しました。国内での自動車業界の設備投資の回復に加え、中国を筆頭とするアジア新興国の設備投資は堅調に推移しました。また、アメリカにおいては、雇用情勢等に不安はあるものの設備投資は好調に

推移し、航空機・自動車等各分野で伸長しました。以上のことから、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益が当初予想を上回ることができました。通期につきましては、引き続き北米およびアジアは堅調に推移すると予想されますが、国内においては東日本大震災の影響で先行きに不透明感があることから、業績予想を据え置いております。

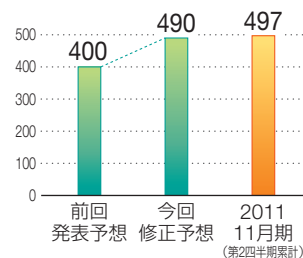
▶ 売上高 (単位:百万円)



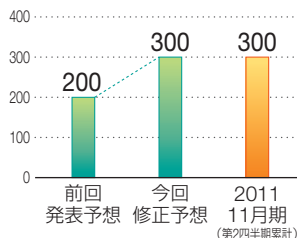
▶ 営業利益 (単位:百万円)



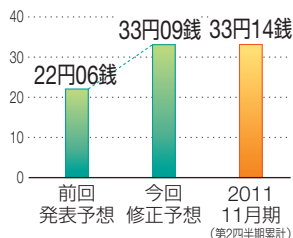
▶ 経常利益 (単位:百万円)



▶ 四半期純利益 (単位:百万円)



▶ 1株当たり四半期純利益



業績予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

■ 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	前期末 平成22年11月30日 現在	当第2四半期末 平成23年5月31日 現在
資産の部		
流動資産	15,587	16,409
固定資産	5,930	5,885
有形固定資産	3,742	3,685
無形固定資産	100	93
投資その他の資産	2,087	2,106
繰延資産	2	2
資産合計	21,521	22,297
負債の部		
流動負債	8,818	9,526
固定負債	573	430
負債合計	9,392	9,956
純資産の部		
株主資本	11,949	12,186
資本金	1,414	1,414
資本剰余金	1,300	1,300
利益剰余金	9,446	9,683
自己株式	△ 211	△ 211
評価・換算差額等	△ 131	△ 158
その他有価証券評価差額金	104	120
土地再評価差額金	269	269
為替換算調整勘定	△ 504	△ 548
少数株主持分	309	311
純資産合計	12,128	12,340
負債純資産合計	21,521	22,297

■ 四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成21年12月1日 至平成22年5月31日	当第2四半期(累計) 自平成22年12月1日 至平成23年5月31日
売上高	10,405	15,963
売上原価	8,787	13,799
売上総利益	1,617	2,164
割賦販売未実現利益戻入額	28	23
割賦販売未実現利益繰入額	13	16
差引売上総利益	1,632	2,172
販売費及び一般管理費	1,570	1,742
営業利益	62	429
営業外収益	142	108
営業外費用	22	40
経常利益	182	497
特別利益	4	23
特別損失	2	8
税金等調整前四半期純利益	184	512
法人税、住民税及び事業税	119	205
法人税等調整額	△ 5	—
少数株主損益調整前四半期純利益	—	306
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△ 2	5
四半期純利益	72	300

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期(累計) 自平成21年12月1日 至平成22年5月31日	当第2四半期(累計) 自平成22年12月1日 至平成23年5月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	716	933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 555	△ 683
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 363	△ 63
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13	△ 46
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 216	139
現金及び現金同等物の期首残高	4,038	5,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,822	5,915

株式の状況 & 会社概要

STOCK INFORMATION & CORPORATE PROFILE

株式の状況 (平成23年5月31日現在)

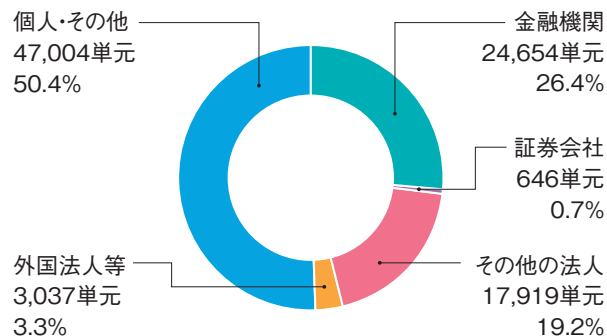
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	7,078名
単元株式数	100株

大株主(上位10名)の状況 (平成23年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコクレーン株式会社	594,000	6.6
株式会社不二越	576,000	6.4
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	550,000	6.1
株式会社りそな銀行	396,000	4.4
マルカキカイ従業員持株会	376,394	4.2
株式会社みずほ銀行	372,000	4.1
株式会社三菱東京UFJ銀行	288,000	3.2
乾 孝 義	261,900	2.9
竹 田 和 平	250,000	2.8
若 山 永 太 郎	212,300	2.3

(注) 持株比率は自己株式(262,222株)を控除して算出し、小数点第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

所有者別株式分布状況 (平成23年5月31日現在)



会社概要 (平成23年5月31日現在)

商 号	マルカキカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設 立	昭和21年12月16日(1946年)
本 社 所 在 地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ http://www.maruka.co.jp/

主な事業内容 機械専門商社として産業機械、建設機械の国内販売および輸出入

資 本 金	14億1,441万円
従 業 員 数	連結 380名、単独 157名

役員 (平成23年5月31日現在)

代表取締役会長	釜 江 信 次
代表取締役社長	竹 下 敏 章
取締役兼常務執行役員	森 康 明
取締役兼執行役員	真 鍋 聡
取締役兼執行役員	諸 富 秀 一
取締役兼執行役員	難 波 経 久
取締役兼執行役員	吉 儀 裕 之
※取締役	湯 村 幸 次
相談役	乾 孝 義
常勤監査役	記 録 勇 次
常勤監査役	塚 原 実 安
※監査役	柴 功 安
※監査役	長 崎 伸 郎
執行役員	太 田 稔

上記※印は、社外取締役および社外監査役であります。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から翌年11月30日まで
- 期末配当受領株主確定日 11月30日
- 中間配当受領株主確定日 5月31日
- 定時株主総会 2月
- 基準日 定時株主総会については 11月30日
(その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
(兼 特別口座の口座管理機関) 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(兼 特別口座の口座管理機関連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 各種お問合せ 電話 ☎ 0120-094-777
※証券会社等に口座をお持ちの株主様のお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。
※特別口座に記録された株式関係のお手続用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。
手続用紙請求電話 ☎ 0120-244-479
(本店証券代行部)
☎ 0120-684-479
(大阪証券代行部)
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<http://www.maruka.co.jp/>
なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
- 上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 市場第1部



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>